

vol.
52

2023.02

Tezukayama

大学通信帝塚山

UNIVERSITY LETTER

2022 WINTER

蓮花学長の6年間と帝塚山大学の歩み

Close-up News

県内大学生が創る奈良の未来事業

心理学科の提案が最優秀賞に輝く

令和4年度

「県内大学生が創る奈良の未来事業」公開コンペ



特集

蓮花学長の6年間と帝塚山大学の歩み

2017年に第15代学長に就任した蓮花一己教授が、2023年3月にその任期を終え、同時に帝塚山大学を退職する。

初代の森儀吉学長に次ぐ長期にわたった在任期間中には、「実学の帝塚山大学」というスローガンのもと、教職協働を掲げて幾多の地域連携や産学官連携を積極的に推進してきた。また、任期の後半には、新型コロナウイルスの世界的流行という、教育のあり方にすら変革を求められるべきことにも正面から向き合うことになった。

蓮花一己学長に、「学長としての6年間と大学教員として過ごした本学での思い出を振り返ってもらい、帝塚山大学の今後への思いを伺った。」



蓮花 一己 (れんげ かずみ)

帝塚山大学 第15代学長(2017年4月~2023年3月)
博士(人間科学) 専門分野:交通心理学 産業心理学
1987年、帝塚山大学着任。ドイツ、フィンランドに在外研修。心理福祉学部(現心理学部)長、副学長(教学・地域連携担当)、図書館長、大学院心理学研究科長を歴任。
日本交通心理学会会長(一社)交通科学研究会理事(一社)日本自動車連盟副会長・内閣府第7次~第11次交通安全基本計画策定専門委員会委員ほか 多数歴任

01-05 特集

蓮花学長の6年間と帝塚山大学の歩み

- 06 Close-up News
「県内大学生が創る奈良の未来事業
心理学科の提案が最優秀賞に輝く」
- 07 キャンパスレポート
- 09 地域連携×大学連携
- 11 クラブ・サークル活動紹介
- 14 卒業生紹介
- 15 キャリアサポート
- 17 IRレポート
- 19 研究紹介
- 20 奈良学への招待・所蔵品紹介
教員業績図書紹介
- 21 帝塚山TOPICS
- 25 Event & Information
- 27 国際交流・入試情報



Tezukayama University Archives 帝塚山大学歴史絵巻 Vol.5

図書館竣工記念はがき(1978年/昭和53年)



1964年(昭和39)の開学当初、まだ図書館は建設されておらず、旧1号館3階の3教室を図書室として利用していました。蔵書数はわずか12,201冊。幅広い専門分野を網羅しなくてはならない教養学部としては、いささか心許ないものでした。大きく蔵書数を伸ばしたのは、1973年(昭和48)のことです。哲学者であった長沢信寿教授の逝去に伴い、故人の蔵書を「長沢文庫」として約6000冊を収蔵したのが転機になりました。

現在の図書館は、帝塚山学園創立40周年記念事業として1978年(昭和53)に竣工しました。その後、1987年(昭和62)の経済学部設置に始まった学部増設に伴い、順調に蔵書数を増やしていくことになったのです。2000年(平成12)には、学園前キャンパスにあった短期大学の図書館が分館として組み込まれたこともあり、一層多彩なジャンルの図書が網羅されるようになりました。今では、本館と分館を合わせて蔵書数は約64万冊を数え(2022年/令和4年3月現在)、私立大学の平均所蔵冊数の約34万冊を大きく上回るまでになっています。施設自体も開館当初とは様変わりし、かつては事務棟内の大学ホールだった場所はCキューブ(ラーニング・commons)に、1階の書庫の一部は学習支援室になるなど、学生の主体的な学びを応援する図書館として進化を遂げています。

写真のはがきは、図書館の竣工記念の際につくられたもの。写っているのは当時主流だった目録カードケースです。今ではOPACで検索して簡単に本を探せますが、かつてはお目当ての本は引き出しの中のカードで探していたのです。

2017年に学長に就任してから、第15代学長として、皆様のご協力を得ながら6年間の任期を務めることができました。心より感謝申し上げます。在任期間には、新型コロナウイルスの流行という未曾有のできごとが起こるなど、学生も教職員もこれまでにない苦しい時期を経験することとなりました。今、ようやく平穏な大学生活が復活してきたことは大変喜ばしいことです。

学生は大学の宝

「子供や若い人達は学園の宝」という言葉は、帝塚山大学を設置する学校法人帝塚山学園の教育の根本理念です。帝塚山大学は学生数が三〇〇〇人を少し超えるほどの中規模大学です。大規模大学にはない良さを生かして、学生一人ひとりに向き合い、彼らの学習に寄り添い、社会人としての将来への歩みをサポートする教育を進めています。「教員と学生の距離が近い」、「面倒見の良い大学」をキャッチフレーズとして、これまでさまざまな取り組みを進めてきました。近年では、「実学の帝塚山大学」を標榜し、時代の変化に左右されない社会に必要とされる力を身につけてもらうべく、社会の課題解決を目的とした地域連携や産官学連携活動を積極的に進めています。

現場と現実を重視する

プロジェクト型学習

教育現場においては、教員と学生は、その立場を超えて、研究や活動を一緒に推進する仲間です。私は36年前、33歳のときに帝塚山大学に着任しましたが、当初より「教育も研究も学生とともに進める」ことを心がけてきました。最近では、大学全体でそうした気運が高まってきたことを大変うれし

く思います。学長に就任してから注力したことのひとつに、「プロジェクト型学習」の推進があります。一部の教員の取組みだったものを、地域連携や産学官連携プロジェクトに予算を配分して全学部全学科で展開するように働きかけました。私が就任してからの連携プロジェクトの実施数は、100件以上に上ります。プロジェクトの成果は、毎年2月に東生駒キャンパスで開催する「実践学生発表祭」で必ず報告してもらっています。同発表祭では、本学の取り組みだけでなく、大学間協定を結んでいる東京の多摩大学や大阪電気通信大学や、高等学校からの招待発表も行われ、こうした学術交流は学生の視野を広げる良い機会となっています。

各種のプロジェクト活動を通じて、私が学生に伝えたかったのは、課題を解決するには、その課題の本質を見抜く必要があるということです。そのためには、「現場(Field)」に行き、「現実(Reality)」にふれて、本質を感じとることが大切なのです。現



▲プロジェクト型学習の成果は必ず発表させる。学問分野の異なる学生らが集い、新たな視点を得ることもつながる



Close-up News



令和4年度「県内大学生が創る心理学部の未来事業」公開コンペ



県内大学生が創る奈良の未来事業 心理学部の提案が最優秀賞に輝く

8月30日、奈良県議会本会議場にて開催された令和4年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」の公開コンペで、県内大学からの応募13件の中から事前の書類審査で選ばれた6グループが政策提案のプレゼンテーションを行いました。

激戦を制し最優秀賞を獲得したのは、本学心理学部心理学科による「子どもたちの心の健康をサポートする『子どもたちの心の健康をサポートする』心理教育アプリの活用」が最優秀賞の栄冠に輝きました。

2012年度から始まった同事業は、奈良県政のさまざまな課題を解決するため、県内の大学に在籍する学生から政策提案を募集し、公開コンペ方式で採択された提案を事業化する取り組みです。コロナ禍による中止を挟んで、今年度、3年ぶりに開催されました。

本学からは心理学部心理学科と法学部法学科の2チームが公開コンペ



▲当時のゼミ生と研究用の車両と一緒に記念撮影。大きな寸胴でつくる蓮花ゼミによる「おでん」は大学祭での名物だった

生が大半を占めている印象で、こうした学風のようなものは、先輩から後輩につながる一種の文化のような気がしています。私の着任は昭和62年（1987年）で、折しも、女子大から共学へと移り変わったときでした。素直な学生が多く、厳しかった私の指導にも弱音をはかずについてきてくれました。朝から夜まで学生と一緒で過ごし、楽しく充実した教員生活でしたので、他大学からの勧誘もすべてお断りして帝塚山大学での教員を続けました。学生と韓国や台湾、シンガポールなどに研修旅行に行ったこともあり、交通心理学の調査には、北海道から九州まで学生と一緒に出かけていました。

卒業の時期に学生を送り出すのは寂しいものですが、最近では卒業生が仕事で大学を訪問してくれたり、私の研究分野である交通心理学の分野で一緒になる機会があったり、長く教員を続けてきたことで、卒業生とのうれしい再会も多くなってきました。あらためて学生に恵まれた教員生活だったと感謝しています。

帝塚山大学のこれから
大学が冬の時代と言われて久しいですが、我々ができること、そしてやるべきことは、学生をしつかりと育てて社会に送り出すことです。「教育」とは「教える育てる」と考える人が多いですが、私の母校である大阪大学人間科学部の恩師の一人で教育学者の森昭先生は、常に「教育とは「教える育てる」ことだと力説されていました。この言葉には、「教える教員」と「育てる学生」の双方にどう、教育は主体的な行為であるという教育観が示されています。私もこの言葉に強く賛同しています。



▲高齢者ドライバーの自家用車にドライブレコーダーを設置し、日常の運転行動を記録して分析。教習所と連携し高齢者の運転行動改善のための教育訓練プログラムを開発するなど、高齢者の健康寿命を延ばすことを目指している。

この4月で私自身は学長を辞するとともに、帝塚山大学を退職しますが、客員教授として今後も大学にかかわり、大学院の講義も担当します。

特に、研究にはこれまでと同じく注力していくつもりです。私の専門は交通心理学なのですが、今も昔も変わらず、交通事故がゼロになり、交通事故の被害者も加害者も皆無になることを願って活動しています。

交通事故の数は減少傾向にあるとは言え、残念ながら、まだまだ新たな事故が起こりつづけています。「この道路は危ない」「この運転は危ない」と言い続けていることもあって、人に煙たく思われがちな研究ではあるのですが、自分が社会に警鐘を鳴らすことで交通事故による不幸なできごとを未然に防ぎ、子どもたちが豊かな未来を迎えることができるように、これからも努力していきます。

帝塚山大学のますますの繁栄と大学にかかわる皆様のご多幸を念じております。

第15代学長 蓮花三巳



同提案は、コロナ禍で増えたとされる学校でのいじめや不登校などの問題の予防に取り組み、子どもたちの心の健康を育む「心理教育」のアプリを学校現場で活用するもの。学生と専門家、奈良県が連携した心理学教育推進チームを編成し、学校やクラスに対して科学的かつ予防的にアプリを推進することで得られた知見や成果を広く社会に還元することを目標としています。

昨年度、奈良県内の小学校で行った「ストレスマネジメント教育」の実践内容が余すことなく反映されたプレゼンテーションからは、子どもたちの心の問題を学科での学びで解決したいという学生の熱意が伝わってきました。



した、質疑応答では、「子どもたちの心の問題に対して、従前は個人に対するアプリが主流であったものを、学校やクラスに対して全体的かつ総合的に解決を図ろうとする非常に時宜に合った取組み」というご意見をいただくなど、審査員からも提案に対する期待感が感じられました。また、受賞後の講評でも、「不登校やいじめについて専門に学んでいるからこそ、この課題を解決したいという意気込みが感じられた。現場で悩まれている学校の先生をサポートできる仕組みを考えていってほしい」と、心理学科の実践的な学びに対して審査員の方々から高い評価をいただきました。

政策提案の原点となった小学校での「ストレスマネジメント教育」

この小学校での「ストレスマネジメント教育」は、コロナ禍で学校生活もままならずにストレスを感じている小学生に対して、心理学の知識で何かできないかと、学生が考えたことから始まりました。鈴木諒さん(心理4年/当時3年)をはじめとする学生14人が、中地展生教授や山口祐子准教授の指導を受けながら計画書を作り、2021年11月、県内小学校で「マイナスのメッセージをプラスのメッセージに変える考え方」を身につけてもらう「スト



2021年11月に実施した県内小学校でのストレスマネジメント教育

レスマネジメント教育」を実施。これらの活動を通じて学生が得た学びや気づきが、今回の政策提案に生かされています。2023年度からは奈良県の事業として県内全体で展開していく一方で、出発点となった「ストレスマネジメント教育」も下級生に受け継がれて、2023年2月に、心理学科の取組みとして新たな小学校で実施することになりました。子どもたちの心の問題の解決に、これからも心理学科の学生は全力で取り組んでいきます。

CAMPUS REPORT

学科と研究科の特色ある取り組みを紹介します。

現代生活学部 居住空間デザイン学科



今年度も京都デザイン賞で入賞・入選しました

公益社団法人京都デザイン協会主催の「京都デザイン賞2022」において、学生3名が入賞・入選しました。同デザイン賞では3年連続での受賞という快挙です。お酒のラベル・パッケージデザインで鬼塚愛実さん(居住デザイン2年)が「伏見の清酒・都鶴賞」を受賞、同じくお酒で長田結良さん(居住デザイン3年)、豆腐の商品企画とデザインで冨家李々果さん(居住デザイン2年)が入選を果たしました。11月6日にくろちくイベントホール(京都市中京区新町通り錦小路上路百足屋町)で行われた授賞式には蓮花一日学長も駆けつけ、入賞した学生の栄誉をたたえました。



文学部 日本文学文化学科



文化遺産の宝庫 奈良ならではの本物を体験する学外実習

1年生を対象としたオリエンテーションで、関根俊一客員教授の解説を聞きながら薬師寺と唐招提寺を拝観しました。日本文学文化学科では年間で30回にも及ぶ学外実習を実施し、歴史や文学の舞台となった史跡や神社仏閣などを訪れ、「本物」に触れることで日本文化への理解を深めます。学生はこのような体験型学習を通じて、日本文学文化学科の学びの多様性について改めて実感できたことと思います。現地では薬師寺の高次喜勝師にご案内いただくという貴重な機会にも恵まれました。

人文科学研究科 日本伝統文化専攻



大学院生が学部生の授業をサポート

日本文学文化学科では、大学院生がTA(ティーチング・アシスタント)として学部の授業のサポートを行っています。大学院生は、授業運営を通じて自らの教育力を高め、将来のキャリア形成につなげます。学部生にとっては、大学院生との授業内でのコミュニケーションが授業の理解度向上に良い効果をもたらします。大学院生が教員だけでは手が行き届かない部分を手助けすることで、さらに質の高い教育が可能となるのです。

心理学部 心理学科



虹色祭で「ふれあい広場」を開催

心理学科では、虹色祭での学科独自の取り組みとして、「ふれあい広場」と称した構成的グループエンカウンターの手法を取り入れたグループアプローチを行いました。学部学科を問わず多くの学生が集まり、心理学科教員のもと、アイスブレイクのゲームやグループでの自己紹介やすごろくを用いたエクササイズを通して交流しました。各グループにはボランティアサークル「ひまわり」や有志の学生がサポーターとして参加しました。学生からは自己や他者へのさまざまな気づきが語られました。

教育学部 子ども教育学科



採用試験合格! その先の夢に向けて

公立小学校教員や幼稚園教諭・保育士等の採用試験に多くの学生がチャレンジしました。子ども教育学科では、授業内で筆答試験や模擬授業の対策を行うだけでなく、学科併設の教職支援センターでも即戦力養成講座などできめ細かい採用試験サポートを展開しています。学生たちは同じ夢を持つ友人同士で励まし合いながら努力を続け、今年の教員採用試験と公務員試験(公立幼稚園教諭・保育士)の合格者は合わせて60名を超えました。卒業後をフォローするメンタルサポートの講義も始まり、学生は教員になってからを見据えてがんばっています。

現代生活学部 食物栄養学科



企業の食品開発のプロセスを学ぶ「食品マネジメント演習」

食品マネジメント演習は2022年度からの新規開講科目。実際に食品開発に携わってきた特別講師を招き食品開発に関する講演会を行うほか、食に関連する外部施設等の見学や食品企業の探究など、食品開発にかかわる多種多様な内容を組み合わせた授業です。食品開発のプロセスについて知識を深め、食品企業および関連企業の動向について学びます。10回目の講義となるこの日は、実際の食品開発で行われる実験を体験。食品のおいしさに寄与する香りや色に関する実験と官能評価を行いました。

心理科学研究科 心理学専攻



「海神丸」にて 海上交通心理学実習

心理科学研究科では、「心理学基礎論1」の一環として、神戸大学大学院海事科学研究科協力のもと、同研究科所有の附属練習船にて海上交通心理学に関する体験実習を行っています。今年で9年目の実習も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて3年ぶりの宿泊実習となり、練習船も「深江丸」から新たに「海神丸」へと様変わりしました。海上交通における安全性や海上航行の構造と理論に関する講義や実習を通じて、分野が異なるからこそ得られる貴重な学びの機会となりました。



帝塚山大学大学院より GRADUATE SCHOOL

経済経営学部 経済経営学科



ビジネスでのデータサイエンス力を磨くプロジェクト

アドバンスプログラムは、選抜された学生を対象とした「ひとつ上を目指したい」学生のための授業。2年生のアドバンスプログラムでは、「ビジネス+データサイエンス+就職力」をテーマに、オムロンソフトウェア株式会社より貸与された機器を活用した調査を実施し、そのデータを処理・分析する取り組みを心理学部とともに進めています。学生は収集したデータをもとに、課題設定から調査内容の検討を行い、チームごとに発表しました。このような実践的な取り組みを通して、学生はビジネスでのデータの活用法について学びます。

法学部 法学科



地域の抱える課題の解決に挑む! 学年を超えたプロジェクト

奈良県が募集する「県内大学生が創る奈良の未来事業」において、アドバンスプログラムの2年生と3年生の混成チームが「小学生に向けた交通安全教室の実施」で最終プレゼンに進む6チームに選ばれました▶P06。日ごろより連携する奈良県警察にもヒアリングを行うなど政策提案に向けて事前準備を徹底し、学年を超えた縦のつながりを深めることができました。残念ながら入賞には至りませんでした。本件で帝塚山小学校と連携し、学生プロデュースによる交通安全教室を開催予定です。



9月28日、奈良西警察署の協力のもと、バイク通学の学生を対象とした「交通安全教室」を東生駒キャンパスで実施しました。講習会にはバイクを通学で利用する学生を中心に約30人が参加し、運転時の注意点や危険性について学びました。

交通安全教室は第一グラウンド奥のゆるやかな傾斜道で行われました。奈良県警の交通機動隊隊員によるバイクの日常点検指導に始まり、続いて模範走行が実演されました。8の字走行ではさすがの運転テクニックに参加者から感嘆の声が上がりました。その後、学生も実際に自分のバイクで走

行し、隊員から安全に走行するための技術指導を受けていただきました。

今回指導にいられた交通機動隊隊員の2人は、実は本学の法学部と法政策学部の卒業生。安全教室終了後には、採用試験や警察官の業務について質問する時間を特別に取っていただきました。警察官志望の学生や、実際に警察に採用が決まった学生がバイクに乗せてもらって記念撮影するなど、あこがれの白バイ隊員との交流を深めました。



本学卒業生の白バイ隊員が運転技術指導
奈良西警察署との連携による
「交通安全教室」

帝塚山大学×奈良西警察署



10月8日から10日の3日間にわたり、「ならファミリ」(奈良市西大寺東町)という大型商業施設で居住空間デザイン学科の卒業研究作品展を開催しました。本卒業研究作品展は、今年、開業50周年を迎えた「ならファミリ」との産学連携事業の一環で実施したもので、コロナ禍で展示できなかった卒業生の作品を中心に、建築インテリア作品や造形作品、論文パネルの合計35作品を展示し、1000人を超える人に来場いただきました。

手に作品を見て回り、ときには会場案内を務める学生に熱心に質問をしていました。コメント欄には「どの作品もユニザーに配慮して細部まで考えられていることに感心した」「社会の課題を解決する姿勢やしつかりとしたコンセプト、新しい着眼点に感銘を受けた」など、学科が注力する課題解決型の学びへの好意的な意見が並びました。竹山広志講師(専門:建築設計)は「さまざまな人が訪れる場所で作品展が開けた意義は大きい。地域の課題を解決する本学の実学への関心を高めてもらえば」と期待を寄せました。

開業50周年を迎えた「ならファミリ」で
居住空間デザイン学科の
卒業研究作品展

居住空間デザイン学科×ならファミリ

大学連携

本学では、他大学との学術連携のもと、教育・研究活動において協働事業を積極的に推進しています。他大学の学生との交流を通じて、学生は幅広い視野を養い、多分野にわたる知識を深めます。



12月10日、「多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」が多摩大学(東京都多摩市)で開催され、本学からは心理学科と経済経営学科の2チームが参加しました。同発表祭は、本学と「学術交流に関する包括協定」を締結する多摩大学が地域でのプロジェクト活動での成果を地域と共有することを目的として開催するもので、今年で14回目を迎えます。多摩大学と本学に加え、多摩大学の系列高校2校と東京経済大学による合計20チームが、多彩な内容のプロジェクトの発表を通じて学術交流を図りました。

本学からは、心理学部心理学科の鈴木諒さん、若崎類さん(ともに4年)と経済経営学部経済経営学科のアドバンスクラスの景山莉子さん、喜山竜斗さん、佐竹亮さん(ともに3年)からなる2

プロジェクトの成果を発表
「第14回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」に
本学から2チームが参加



チームが参加し、それぞれが子どもたちの心の健康をサポートする「心理教育アプローチの活用」と「ひだがしの市場調査アンケートとインタビューをもとにした提言」のテーマで発表に臨みました。

前者は8月に行われた「県内大学生が創る奈良の未来事業」で最優秀賞を獲得した政策提案にもとづいた発表。学校でのいじめやうつなどの問題を予防し、子どもたちの心の健康を育むために「心理教育」のアプローチを活用するというものです。後者は多摩大学との連携授業、特殊講義(地域アクティブ・ラーニング)での取組みについての報告です。現地でのアンケートやヒヤリング調査の分析をもとに行った、岐阜県の飛騨高山の老舗菓子屋に対する商品改善提案について発表しました。いずれも学科の学びで社会の課題解決に挑戦する意欲的な内容で、20分という短い時間ながら密度の濃い報告がなされました。

2023年3月には、多摩大学の発表チームを招き、本学主催の「実践学生発表祭」を東生駒キャンパスで開催する予定です。

地域連携

本学は、自治体、企業、研究機関などと連携して地域や社会の課題解決に取り組む「プロジェクト型」学習に注力しています。奈良県を中心に各所で展開する地域連携、産官学連携のプロジェクトを通じて、学生は「時代を生き抜く力」と、「変化に対応する力」を身につけます。



11月6日に五條市役所で行われた「GO! JOIN! にぎわいフェス in 五條」において、食物栄養学科の藤村太二郎教授(専門分野:食品化学)ゼミの4年生6人が考案した「柿ソース」を用いたスイーツを販売しました。

この柿ソースは柿の専門店として有名な石井物産株式会社との共同開発です。柿の甘味と鮮やかな柿の色味を両立させるため、異なる品種の柿を数種類配合して最適な組み合わせを探りました。和柑橘ではなくさつばりとしたライム果汁を加えたことにより柿の甘味がシャープに際立ち、

食物栄養学科の学生が石井物産株とのコラボで柿ソースを開発
食物栄養学科×石井物産株式会社

パンケーキやアイスクリームとの相性が抜群なソースに仕上がっています。

イベントで販売されたスイーツは学生原案による柿ソーダ(葛玉入り)と柿レアチーズの2種。その日は11月とは思えないほどの陽気に恵まれたこともあり、しゅわしゅわとした喉越しとモチリした葛の食感が楽しめる柿ソーダは、特に涼を求める来場者に大好評でした。

今後は柿ソースのカフェやスイーツ店舗での業務用展開を視野に入れ、石井物産株式会社と連携してさらなる改良を加えていく計画です。

①活動内容 ②アピールポイント ③今年の目標

放送研究会

東生駒
キャンパス

2022年11月からは構内放送も再開して
パワーアップ



コミュニケーションの楽しさに気づけるサークル。自分が面白いと思ったことを誰かに伝えたい人も、話すことが得意じゃない人も、「話すこと」で友達の輪が広がられます!

代表 山形 誠也さん(法学科3年)

- ①火曜18時半から、木曜4限終わりからの週2回、東生駒キャンパス9号館で構内放送を収録。ならどっとFMでは月2回の番組を担当し、1度は生放送で行っています。ほかには学内イベントのMCも担当しています。
- ②8名(男5名 女3名)
- ③「話すこと」が活動そのものなので、コミュニケーション能力が上がります。番組は部員同士の会話がメインなので、私たちと楽しく雑談することで、魅力的な構内放送を作り上げていきましょう!



構内放送の収録の様子。ボックスから今日のお題を選んでフリートーク

水泳サークル

学園前
キャンパス

温水プールで皆がのびのびと泳いでいます



個人のペースで泳ぐことができるので、無理なく水泳を楽しめます。経験者でなくてもOK!泳ぎたい気持ちがあれば、誰でも大歓迎です!

代表 竹田 朝翔さん(日本文化学科4年)

- ①週に1回、16時半から学園前キャンパスにある帝塚山小学校のプールで泳いでいます。基本的に自由に泳ぐことが多いですが、決められた練習メニューを行うこともあります。
- ②23名(男14名 女9名)
- ③初心者も経験者も一緒に楽しく泳ぐことができたいと思っています。最大のメリットは、温水プールなので冬でも寒くないこと。一年中快適に泳げる環境です。



広々とした温水プールで気兼ねなく水泳が楽しめる

クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する
帝塚山大学生の姿をお届けします。

強化認定クラブ 女子バレーボール部

東生駒
キャンパス

全日本インカレ2022で初のベスト8! 苦しいシーズンで最後に見せた底力

9月10日に開幕した関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦女子1部リーグ。1次リーグBブロックを5戦全勝の1位で通過したものの、上位リーグ戦での惜敗が続き3位でシーズンを終えました。秋季リーグ3連覇の夢は潰れましたが、スパイク賞に北山佳月選手(経済経営3年)、サーブ賞に石橋里奈選手(食物栄養2年)が選ばれました。

11月19日から20日、昨年初優勝を果たした関西インカレ(2022年度PhitenCUP関西バレーボール大学男女選手権大会女子トーナメント)が行われ、本学は2回戦から登場。順調にベスト8まで駒を進めましたが準々決勝で天理大学に敗退し、残念ながら連覇を達成することはできませんでした。

今シーズンの最後を飾ったのは全日本インカレ(第69回秩父宮妃杯全日本バレーボール大学女子選手権大会ミキブルーンスーパーカレッジバレー2022トーナメント戦)。11月29日の初戦の対戦相手は、西日本大学選手権大会で4部ながら強豪の鹿屋体育大学を破った帝塚山学院大学。3-0のストレートで下し、30日の2回戦も関東リーグ2部4位の早稲田大学にストレートで勝利。12月1日には東海リーグ1部1位の岐阜協立大学との接戦を制しベスト8進出。翌日は関東1部リーグ2位の筑波大学を撃破した福岡大学と対戦し、残念ながら1-3で敗れましたが、初の全国ベスト8という結果を残しました。

このチームでの試合は全日本インカレを持って終了となりますが、年末に開催される西日本学連選抜女子対抗戦(北海道、北信越、東海、関西、中国、四国、九州の各学連)で、北山佳月選手(経済経営3年)、渡邊愛梨選手(日本文化2年)、堺目愛和選手(居住空間デザイン1年)、堀由佳選手(心理1年)の4名が関西選抜に選出され、北山選手が主将となりました。



強化認定クラブ レスリング部

東生駒
キャンパス

ベテランを中心に安定した成績を残す
今年はレスリング頂上決戦の「天皇杯」に2選手が選出

10月から12月にかけては、レスリング競技の主要大会が集中するハイシーズン。今シーズンも多く選手が入賞を果たすなど、期待に応える戦果を挙げています。

◆西日本学生選手権

10月14日から16日までJCOM末広体育館(大阪府泉佐野市)で開催された「西日本学生選手権」に本学から17名が参加し、優勝をはじめとする好成績を収めました。本大会で優勝した松岡大誠選手(経済経営4年)と吉田奨健選手(経済経営2年)は、12月に開催される「天皇杯全日本選手権大会」の出場権を獲得しました。

西日本学生選手権

- ◆グレコローマンスタイル55キロ級 松岡大誠(経済経営4年)優勝
- 沼田将吾(法1年)準優勝
- ◆グレコローマンスタイル87キロ級 矢崎元也(経済経営3年)3位
- ◆フリースタイル86キロ級 吉田奨健(経済経営2年)優勝

◆第48回内閣総理大臣杯

令和4年度全日本大学選手権

11月19日、20日に金岡公園体育館(大阪府堺市)で「第48回内閣総理大臣杯 令和4年度全日本大学選手権」が開催され、本学からは8名の選手がエントリー。フリースタイル86キロ級で吉田奨健選手(経済経営2年)が3位で銅メダルを獲得したほか、フリースタイル125kg級では沖野雷斗選手(経済経営3年)が8位に入賞しました。



強化認定クラブ 硬式野球部

東生駒
キャンパス

一進一退で4位に終わる
来季の1部リーグ昇格への爆発力を期待

今季は、初戦からコールド負けを喫するという黒星発進となり、攻めあぐねる展開の試合が続きました。2勝3敗の負け越しで折り返し、奮起を期待したい後半戦も苦しい試合運びに。最終的には4勝6敗のリーグ4位と、春季リーグと同じ結果に終わりました。悲願の1部リーグへの昇格は来シーズンへの課題となりました。



強化認定クラブ ラグビー部

東生駒
キャンパス

Bリーグへの復帰ならず
来シーズンでの巻き返しを誓う

初戦から3戦目までは相手チームに大差をつけて下し、滑り出しは上々だった今季リーグ戦。4戦目の関西外語大にドロー、5戦目の大阪公立大に敗北したことでC2リーグで3位となり、C1リーグ3位のチームと5-6位の順位争いに。Bリーグへの入替選へ進めるのは上位4チームのみ。この時点で本学のBリーグへの昇格の夢は絶たれてしまいました。この悔しさを胸に、来季はBリーグ復帰に向けて、チーム一丸で挑みます。



pick up

女子バレーボール部出身 川森萌可さん
今は歌手として夢を追いかけています!

川森さんは心理学部心理学科を2020年3月に卒業。学生時代は女子バレーボール部でクラブ活動に力を入れていました。大学では、授業の空き時間に図書館で映画を見るのが楽しみだったとか。川森さんは、153cmと小柄ながらもパワフルなパフォーマンスとよく伸びる高音の歌声が魅力。普段の表情とステージでのギャップに魅せられるというファンも多いそう。その秘密は女子バレーボール部の経験から得た強さにあるのかもしれない。「自分に自信が無かったり、自分を好きになれなかったりする人たちの希望になりたい」と夢を語る川森さん。全国ツアーでのライブパフォーマンスは必見です。



監督とハイタッチをする川森さん

川森萌可 Kawamori Moka

- 身長 153cm
- 年齢 24歳
- 出身 三重
- Instagram 1万人 TikTok 26.4k
- 特技 ダンス、歌うこと、お芝居
- 曲目 『A.I.』『Shiny Girl』『believe』『Badgood kiss』『ROSE』『ふたり』『it's my new life』『朝陽が僕らに微笑んだ』

川森萌可 2023全国ツアー『PRINCESS』

- 【名古屋】日時: 2/11(土) 会場: 大須TOYS
- 【東京】日時: 2/25(土) 会場: 下北沢VOICE FACTORY
- 【福岡】日時: 3/11(土) 会場: 福岡UTERO
- 【三重】日時: 3/25(土) 会場: 松坂ROCKERS CLUB
- 【大阪】日時: 4/1(土) 会場: 新今宮SPACE HOUSE

川森さんのインタビュー動画を特別に作っていただきました。



川森さん公式SNS



学校での経験を通じて、自分で考えられる力を

中学校で国語の教員となって4年、今は2年生の担任を務めています。授業だけでなく、保護者対応のほか、行事の調整やら事務仕事など多岐にわたる業務をこなす必要があるため、目まぐるしい日々を送っています。加えて、女子ソフトボール部の顧問も担当しているため、土日もフル稼働。大変ですが、生徒の成長が自分の成長に直結している実感があります。

帝塚山大学に進学したのは、教員が目指せる野球ができるという条件に最適だったから。部活の傍らでアルバイトもしつつ、取れる限りの単位を取ったので、学生時代は本当に時間がなかったです。だから、教員採用試験の勉強は効率を重視しました。空き時間を利用して過去問題を繰り返し解き、面接対策には学内の「教師塾」を活用しました。

プライベートで家庭を持ってからは、生徒ひとり一人の背景を今まで以上に考えるようになりました。教員は生徒に対して情を持ちつつも、「家族ではない大人」として社会のルールを教える、彼らの自立心を育てる必要があります。公立中学校では、さまざまな要因で学校生活や勉強に興味を持つことが難しい生徒も少なくありません。だからこそ、学校が勉強以外の新しい経験ができる場になればと思います。

自分自身も大学の授業で「これが何の役に立つの？」と思うことがありました。でも、「ああ、このことだったんだ」と腑に落ちる瞬間がやがて必ず訪れる。どんな知識も決して無駄にならないんです。そういった新しいことに対する好奇心や学ぶ楽しさを生徒にも感じさせてあげたい。学校でのいろいろな体験が、生徒のよりよい未来を形づくることを願います。



(左) 授業の空き時間は学内のカフェで勉強に集中していた。定番の同伴はホットサンドとアイスコーヒー。
(右) 野球部出身の腕を買われて就いた女子ソフトボール部の顧問。部員9人のチームを奈良県優勝に導いた。写真は大学時代のもの。



奈良県教育委員会 国語科教諭
三郷町立三郷中学校
浅香 駿秀さん
文学部日本文化学科 2019年3月卒業

卒業生紹介

働く人の安全と安心のため
建築物を火災から守る



(株)関西建築防災研究所 勤務

小林 眞子さん

現代生活学部居住空間デザイン学科 2020年3月卒業

安全性とデザイン性が両立する建築物とは

建築物の避難安全に関するコンサルティングを行っています。2000年から、建築物の中にいる人が火災時に安全に避難できることを計算で検証できれば、建築物の設計に関して建築基準法で定められた制限が一部免除できる避難安全検証法が定められました。同法の適用で、外観や内装に影響する排煙口などの設備の制限が緩和されるので、工事費や維持費のコストカットにつながるだけでなく、建築デザインの自由度が増すというメリットがあります。

同法を適用させたいクライアントの依頼に基づき、図面を引いて避難安全にかかわる項目についての計算書を作り、指定確認検査機関などへ提出するのが主要な業務。部屋の用途や面積、天井の高さ、扉の数、歩行距離や避難経路、内装材の材質など各種の項目を細かく検証します。告示の内容を理解し、図面デザインと計算書を照合チェックするには、正確かつ幅広い専門知識が要求されます。

手に職をつけたくて進学した居住空間デザイン学科では、先生に恵まれて充実した4年間を過ごすことができました。課題が多くて大変でしたが、おかげでタスク管理能力が身につけられました。学生時代は「難しい」という印象しかなかった建築士試験用の「法規」科目も、今の業務内容には必須。大学での学びが、すべて仕事に結びついているのを実感しています。

今の目標は1級建築士試験の合格と、できる限り案件数をこなして実務知識を深めていくこと。安全性とデザイン性を両立させた建築物の実現に向けて、もっと最適な提案ができるようになります。



(左) 学生時代、もっとも力を入れたのは製図。課題が夢にまで出てくるほどだったという。
(右) 卒業制作では「知的障害者と老人ホームの集合施設」をテーマに、設計案と建築模型を制作した。

クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する帝塚山大学生の姿をお届けします。



2022 11.19-20 Sat.-Sun.

3年ぶりに模擬店が復活！
第58回帝塚山大学大学祭「虹色祭」を開催

11月19日と20日の2日間にわたり、東生駒キャンパスにおいて第58回帝塚山大学大学祭「虹色祭」を開催しました。今年は在学生と教職員限定ではあるものの3年ぶりに模擬店が復活。クラブやサークルによるステージ発表に加え、お茶席やフラワーアレンジメントのほか、学科の学修成果の展示などが行われ、東生駒キャンパスは久々の大学祭らしい空気に包まれました。模擬店では、焼きそばやたこ焼きといった定番メニューだけでなく、目先のかわった「小籠包」や「さつまいもチップス」などの出店もあり、いずれも早々に完売するという盛況ぶりでした。

1日目のステージのトリを飾ったのは人気アーティストのBerry GOODMAN (写真上段右)。会場を巻き込む巧みなパフォーマンスに、6号館前の中央広場に詰めかけた観客は大いに盛り上がりました。2日目は、吉本興業の芸人の

お笑いライブやダンススクール楽crewによるステージを目標に会場に集まった学生で昼間からキャンパスがにぎわいました。展示見学をきっかけに他学部の学生と知り合い、新しい出会いに話が弾んでいる光景も見られました。

2日間にわたる宴のフィナーレは、虹色祭恒例の打ち上げ花火です。2日目の16:00から卒業生と近隣住民の方を予約制で来場可能としたこともあり、花火を間近で見ようと多くの親子連れが訪れました。18:00になるとMCによる掛け声とともに音楽が始まり、次々と大きな花火が打ち上げられました。音楽に合わせて第一グラウンドには緑の光線が躍り、夜空に鮮やかな赤や緑の光が輝いてははじけて金色の帯が滝のように降り注がれました。参加者は花火を仰ぎ見ながら、スマホで動画や写真を撮ったりして楽しんでいました。

2022.12.6 -2023.2.6 Tue.-Mon.



今年度は東生駒キャンパスがメインに
帝塚山大学伝統の光の祭典「キャンパスイルミネーション」



今年のキャンパスイルミネーションは東生駒キャンパスがメイン会場。「レトロな空間」をテーマにイルミネーション推進委員会がデザインしました。学園前キャンパスでは使用できなかったピンクのLEDを多用し、温かみのある空間を演出しています。

12月6日に行われた点灯式では、蓮花一己学長の挨拶に続き、イルミネーション推進委員会代表の楠本彩乃さん(居住空間デザイン2年)が挨拶。その後、MCによるカウントダウンの合図でイルミネーションに一同に明かりがともされ、集まった学生や教職員から歓声と拍手が起こりました。

学園会(学生会)から温かい飲み物やお菓子のほか、経済経営学部の中川ゼミと法学部の末吉ゼミによるSDGs企画「Tez芋(学内遊休地で育てたサツマイモ)」の焼き芋が参加者に振る舞われました。軽音学部によるミニコンサートもあり、学生らは飲み物や食べ物を片手に、歌声に耳を傾けていました。あたりが暗さを増す6時ごろには、授業が終わって帰途につく学生らも交じり、「きれい」「SNSにアップしたい」など話しながら、イルミネーションの前で記念撮影に興じていました。

点灯期間は、来年の2月6日まで。17:00~21:30の間、東生駒キャンパスが光で包まれます。学園前キャンパスは大規模工事のため全面的なイルミネーションは控えています。図書館前の通路は昨年までと同様にイルミネーションに照らされています。



焼き芋、あまっ!

①幻想的な光に包まれる東生駒キャンパス。バスからも見ることができ②学園前キャンパスの図書館前を明るく照らす。学園前は今年で18年目のイルミネーション③キャリアセンター前の柱も今年はパステルピンクに④冬がテーマの曲をしっとり歌い上げた⑤ほかほかの焼き芋は大人気であっという間に完売。「Table for Two」を意識した募金活動も行った。

今年も優良企業への就職多数！ 早めのキャリアセンター利用が内定のカギに

民間企業も公務員も、希望の進路で内定を獲得



内定先
 積水ハウス株式会社
 経済経営学部
 経済経営学科4年
 岩井 彩華さん



内定先
 大阪府(福祉職)
 心理学部
 心理学科4年
 西川 優さん



内定先
 積水ハウス株式会社
 現代生活学部
 居住空間デザイン学科4年
 城戸 優仁さん

2023年3月卒業生 主な内定先

2022年12月現在

民間企業
 旭情報サービス(株)/(一社)日本自動車連盟(JAF)/(医)ユニメディコ/大阪シティ信用金庫/大末建設(株)/池下設計(株)/一条工務店(株)/金山工務店(株)/ジェイアール西日本総合ビルサービス(株)/南海国際旅行(株)/南都銀行(株)/パウハウス丸栄(株)/ベネッセスタイルケア(株)/蓬萊(株)/LITALICO(株)/LEOC/近鉄ケーブルネットワーク(株)/近鉄不動産(株)/近鉄保険サービス(株)/佐藤薬品工業(株)/サントリービブレソリューション(株)/シダックス(株)/シャープマーケティングジャパン(株)/社会福祉法人伊賀市社会事業協会/社会医療法人畿内会岡波総合病院/社会医療法人高清水高井病院/住友林業ホームテック(株)/生和コーポレーション(株)/西日本本社/積水ハウス(株)/積水ハウス不動産関西(株)/積水ハウスリフォーム(株)/セコム(株)/総合警備保障(株)/ダイキン・コンシューマ・マーケティング(株)/大東建託(株)/大和ハウス工業(株)/大和リース(株)/高松建設(株)/たねやグループ/東建コーポレーション(株)/(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構/ナブコ(株)/奈良県農業協同組合(JAならけん)/西日本ジェイアールバス(株)/日清医療食品(株)/日本ドライケミカル(株)/日本郵便(株)/パナソニックリフォーム(株)/富士通ITマネジメントパートナー(株)/フランスベッド(株)/プリチストンタイヤサービス西日本(株)/三菱UFJ不動産販売(株)/ヤンマーエネルギーシステム(株)/リコー(株)ほか

公務
 国税庁(大阪国税局)/田辺市役所/大阪府庁(福祉職)/警視庁/京都府警察本部/奈良県警察本部/自衛隊(一般曹候補生)ほか

教育
 東京都教育委員会/宮崎県教育委員会/奈良県教育委員会/愛知県教育委員会/愛媛県教育委員会/川崎市教育委員会/京都市教育委員会/京都府教育庁/堺市教育委員会/滋賀県教育委員会/福岡県教育委員会/北海道教育委員会/伊賀市役所/宇陀市役所/大阪市役所/香芝市役所/京田辺市役所/渋谷区役所/天理市役所/豊中市役所/学校法人鴻池学園/学校法人泉涌寺学園 山幼稚園 ほか

キャリアセンターと「教師塾」の併用で教員採用試験を突破

教師塾は
 大学通信帝塚山
 50号P12に掲載





内定先
 奈良県教育委員会
 栄養教諭
 現代生活学部
 食物栄養学科4年
 越水 はるかさん



内定先
 東京都教育委員会
 中学校・高等学校共通:国語
 文学部
 日本文化学科4年
 伊藤 柚貴さん



内定先
 宮崎県教育委員会
 中学校:国語
 文学部
 日本文化学科4年
 江藤 千夏さん



Tezukayama Career Support

就職支援の取組み

キャリアセンターでは、学生1人ひとりが「実学教育」を通じて主体的に行動し、地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

学生が自らの意思で進路選択・就職決定ができるよう、多種多様なサポートプログラムを実施するとともに、個人の希望やニーズや就職活動の進捗状況に合わせてきめ細かい支援を行っています。

希望の進路をかなえる キャリアセンターの就職活動支援プログラム

170社以上の優良企業が集結 学内WEB企業説明会



各業界を代表する優良企業が参加し、前期は2月7日～22日まで、後期は3月1日～14日まで開催します。今年はオンライン開催により、対面よりも多くの企業の話を知ることができるのがメリット。毎年、多数の学生がこの説明会で出会った企業で内定を獲得しています。

前期
2023. 2.7(火)-22(水)

後期
2023. 3.1(水)-14(火)

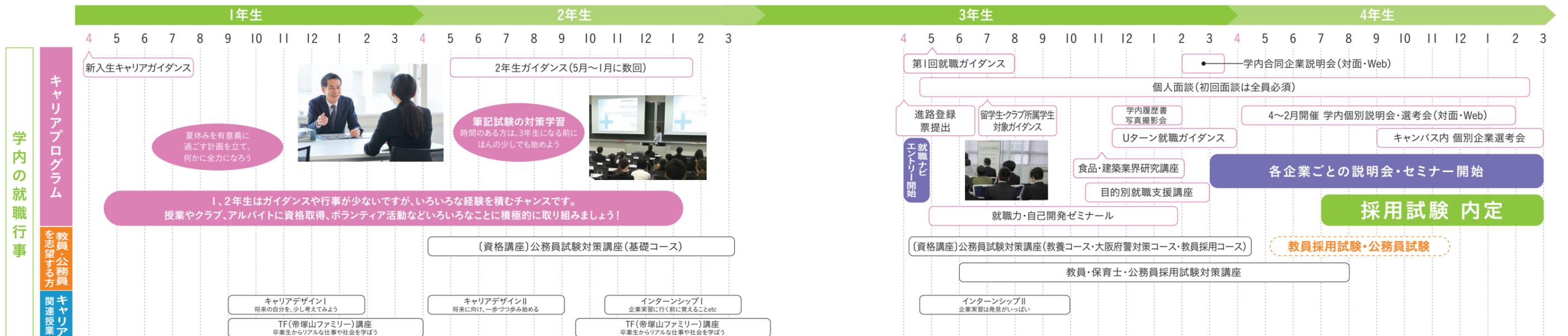
食や住まいの専門知識をもとに就職「合同業界研究セミナー」



食物栄養学科や居住空間デザイン学科の専門性が高い職種を希望する学生に最適な業界研究セミナーです。学科での学びを生かせる業界に特化した企業が16社参加します。2月に2日間、にわたって学園前キャンパスで開催し、専門知識をもとに活躍したい学生をサポートしました。

4年間の就職活動スケジュール

1年次から始まるキャリアプログラム。夢に向かって4年間の活動計画を立てよう！対面・オンラインとも豊富なサポートプログラムを大いに活用しましょう。



※2022年度実施

IR REPORT

学習行動調査からみる帝塚山大学生

帝塚山大学では、入学から卒業までの大学生活4年間を通して、学生を対象とした各種アンケートを定期的に実施し、その結果を教育活動・学生支援の改善に生かすべくIR(注)に取り組んでいます。その取り組みのひとつとして、「学習行動調査」では、在学生を対象に、毎年度、前期・後期それぞれ履修登録期間中、学習経験や学習時間、学習意欲、大学の学びで身についた力・知識などを調査しています。今回は、この「学習行動調査」の結果を分析し、導き出された課題を整理することで、今後の本学の教育内容・方法や学生支援の改善に役立てていきます。

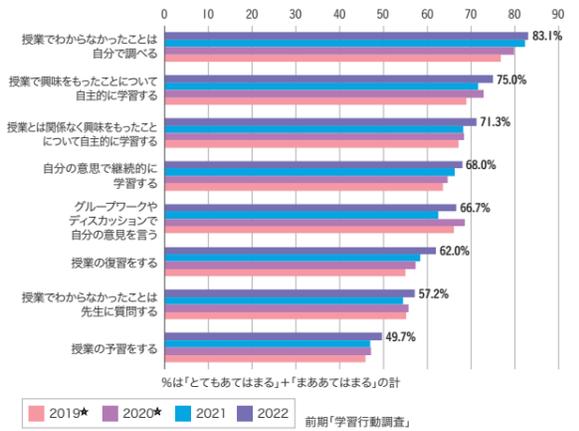
(注) 今回、学習行動調査の分析結果を報告するにあたって、新型コロナウイルスが学生に及ぼしている影響を明らかにするため、各図においてコロナ前の時期を対象とした調査の年度には☆を付し、調査の時期を区別しています。また、学習行動調査は、前期・後期それぞれの履修登録期間中に実施し、学生は前の学期の学習行動を振り返る形で回答しているため、同じ年度の調査でも学期によって新型コロナウイルスの影響の有無が分かれています。

授業への取組姿勢・態度からみえる学生の学習意欲と経験

前期履修登録時の調査において、「大学の授業に普段どのように取り組んでいるか」を選択形式で尋ねたところ、いずれの学習行動においても「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した学生の割合の合計は昨年より高い結果となりました。項目別にみると、上位3位までの項目は昨年と同じく、「授業でわからなかったことは、自分で調べる」(83.1%)、「授業で興味をもったことについて自主的に学習する」(75.0%)、「授業とは関係なく興味をもったことについて自主的に学習する」(71.3%)について自主的に学習する(71.3%)

で順位に変動はありませんでした。大学教育がコロナの影響を受ける前の2020年度前期履修登録時の調査結果と比べても全体的に数値が高い傾向にあり、学生の学習意欲の向上が確認できます。一方で、「グループワークやディスカッションで自分の意見を言う」(66.7%)経験については、2020年度の調査を僅かながら下回っています。これは、学生の意欲だけの問題ではなく、授業で相互に意見を述べ合う機会自体がコロナ前の水準に戻っていない可能性も考えられます。

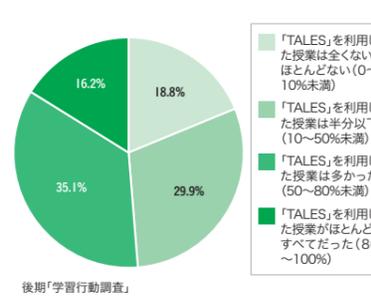
図1 授業への取組姿勢・態度(複数選択可)



前期履修登録時の調査において、「eラーニング機能を搭載した本学独自の学習支援システム「TALES」(Tezukayama TALES)のさらなる活用へ」

本学独自の学習支援システム「TALES」のさらなる活用へ

図2 「TALES」を利用した授業の割合(ひとつ選択)

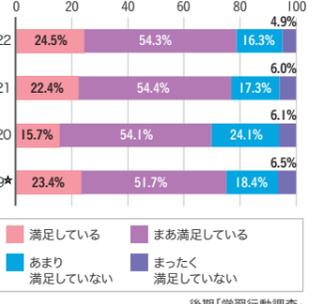


後期履修登録時の調査において、「授業開講期間中1週間あたりの授業時間外の学習時間」を尋ねたところ、「0時間」と回答した学生は昨年より2.6%減少しました。「6時間以上」と回答した学生の割合も僅かながら減少しており、最も多かった層は「1~5時間」(52.1%)の学生でした。

2019年度の調査結果と比べて学生の学習時間は伸びています。この結果が一過性のものなのか、それとも授業時間外学習の実質化が進んでいると言えるのか、引き続き注視していく必要があります。

後期履修登録時の調査において、「帝塚山大学に満足しているか」を尋ねたところ、「満足している」「まあ満足している」と回答した割合の合計は8割弱でした。新型コロナウイルスの世界的大流行がはじまって最初の調査となる2020年度後期履修登録時の調査では帝塚山大学に対する満足度が落ち込みましたが、大学が取り組んできた教育や学生支援に対する不

図5 帝塚山大学への満足度(ひとつ選択)



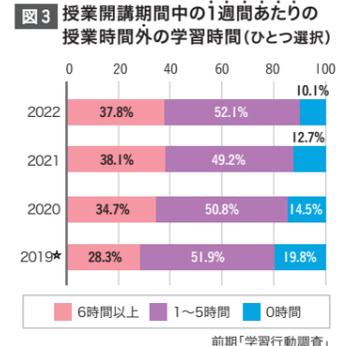
紙面の都合上、全ての設問を掲載することはできませんでしたが、今回の調査結果について、今後、大学としてさらなる検証を重ね、学生の満足度向上に繋がられるよう教育・学生支援の改善・充実に取り組んでいきたいと考えています。

後期履修登録時の調査において、「授業開講期間中1週間あたりの授業時間外の学習時間」を尋ねたところ、「0時間」と回答した学生は昨年より2.6%減少しました。「6時間以上」と回答した学生の割合も僅かながら減少しており、最も多かった層は「1~5時間」(52.1%)の学生でした。

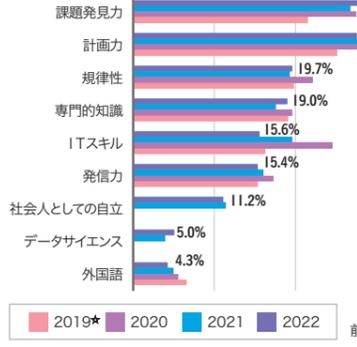
2019年度の調査結果と比べて学生の学習時間は伸びています。この結果が一過性のものなのか、それとも授業時間外学習の実質化が進んでいると言えるのか、引き続き注視していく必要があります。

後期履修登録時の調査において、「帝塚山大学に満足しているか」を尋ねたところ、「満足している」「まあ満足している」と回答した割合の合計は8割弱でした。新型コロナウイルスの世界的大流行がはじまって最初の調査となる2020年度後期履修登録時の調査では帝塚山大学に対する満足度が落ち込みましたが、大学が取り組んできた教育や学生支援に対する不

最後にになりましたが、10月に開催しました保護者教育懇談会・就職説明会におきまして、参加された保護者の方を対象としたアンケートを実施いたしました。ご協力いただきました皆様には深く感謝いたします。ありがとうございました。



2019年度の調査結果と比べて学生の学習時間は伸びています。この結果が一過性のものなのか、それとも授業時間外学習の実質化が進んでいると言えるのか、引き続き注視していく必要があります。



2022年度学習行動調査実施概要
●調査期間 前期:2022年3月24日~4月14日
後期:2022年8月22日~9月30日
●対象 前期:新2年生以上の在学生
後期:在学生全員
●調査方法 webによる各期の授業科目の履修登録画面にアンケート設問が自動表示され、その場で入力
●回答者数・率 前期:2,584名(男子1,310名・女子1,274名)、97.3%
後期:3,151名(男子1,532名・女子1,619名)、92.0%
※IRレポートには含まれていませんが、学習行動調査は大学院生にも実施しています。
※前期と後期では設問が異なります。
※調査結果の比率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

※1 IR(=Institutional Research インスティテューショナル・リサーチ)とは、大学の教育・研究などに関する情報の収集・分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うことを指します。

奈良学への招待



奈良の正月行事

日本の先祖神は里山や森など身近な世界に住んで人々の暮らしを見守り、定期的な家を訪ねて子孫との交流をはかる、その最も重要な機会が正月と盆である。柳田国男は説きました。

大晦日、奈良県生駒市高山町では砂まきをします。山から採取した砂を箕に入れ、庭に放射線状、または階段状にまきます。宝船や太陽を描く家もあり。その後、提灯に灯を入れます。砂まきは清らかな山砂で神の道を作り、山から訪れる年

文学部

日本文化学科 教授 高田照世

所蔵品紹介

獅子優填王に牡丹図絵馬

古来、わが国では神は乗馬姿で降臨するものと考えられ、馬は神聖視されてきました。『日本書紀』などの様々な記録に馬を神に献上したことが記されています。絵馬は奈良時代の天平9(737)年に大流行した天然痘の広がりを鎮めるため、生き馬の代わりに創作され、神に奉納されたと考えられています。奈良時代に除災のために誕生した絵馬は、その後雨乞いや病氣平癒、祈願成就など人々の様々な願いを叶える道具として、今日まで利用され続けているのです。

写真の絵馬は文殊菩薩による知恵増進を祈願して、文殊菩薩の眷属

である優填王と唐獅子を表現した絵馬(縦33・3×横50・6×厚さ2・8センチ)です。絵馬の左方には慶安二(1649)年二月の銘が記されており、江戸時代前期に制作された絵馬であることがわかります。本絵馬には残念ながら奉納者や奉納地についての記載はありません。

しかし、同じ頃に興福寺(奈良市)に奉納された獅子優填王図絵馬によく似た表現の絵馬があること、興福寺東金堂の文殊菩薩は知恵を授ける文殊として名高いことから、本絵馬もかつて興福寺に奉納されたものであったと考えられます。

文学部

日本文化学科 教授 清水昭博



本学教員の執筆図書紹介

執筆図書一覧

本学教員の著作は、教育研究活動成果の公開を目的として、東生駒キャンパス図書館本館と学園前キャンパス図書館分館の「業績図書」コーナーに配架されています。

教員名	所属/役職	分類	書名	出版社	発行年月	価格
式部 陽子	心理学部心理学科/講師	分担執筆	困っている子をほめて育てるペアレント・トレーニングガイドブック: 活用のポイントと実践例 第2版	じほう	2021年6月	2,700円+税
川口 洋	文学部日本文化学科/教授	編者	歴史人口学の課題と展望: 日本人口学会報告書	日本人口学会	2022年6月	-
大里 浩二	現代生活学部居住空間デザイン学科/准教授	監修	イラスト&光と色彩>解体新書: この色であって?を自信に変える	マイナビ出版	2022年8月	2,070円+税
奥村 由美子	心理学部心理学科/教授	分担執筆	ケアの現場・地域で活用できる回想法実践事例集: つなかりの場をつくる47の取り組み	中央法規出版	2022年8月	2,600円+税
谷口 淳一	心理学部心理学科/教授	分担執筆	応用心理学ハンドブック	福村出版	2022年9月	25,000円+税
大里 浩二	現代生活学部居住空間デザイン学科/准教授	デザイン	京都二条城と真実文化	青幻舎	2022年9月	2,000円+税
谷口 淳一	心理学部心理学科/教授	分担執筆	私たちはなぜ傷つけ合いながら助け合うのか(心理学ビジュアル百科, 社会心理学編)	創元社	2022年9月	2,700円+税
岩井 洋	全学教育開発センター/教授	単著	オルファイズム: 岡田良男とオルファ株式会社の挑戦	オルファ	2022年10月	1,300円+税
永石 高敏	心理学部心理学科/講師	翻訳	ドムヤンの学習と行動の原理	北大路書房	2022年10月	7,200円+税
徳永 加代	教育学部こども教育学科/准教授	監修	言の葉紙しばいシリーズ2	京都柿本書房	2022年12月	2,000円+税

(発行年順)

研究紹介

科学研究費 基盤研究(B)

研究期間 2022年4月1日~2026年3月31日

小規模保育施設の建築計画と園外活動を支える都市環境のあり方に関する研究



現代生活学部居住空間デザイン学科 辻川ひとみ 教授



小規模保育事業は、待機児童の解消を目的とした子ども・子育て支援制度のひとつで、平成27(2015)年度より新たに始まりました。市町村の認可を受けて行われる低年齢児を対象とした地域型保育で、0~2歳児を対象に定員6~19人の比較的小さな施設で規模の特性を生かしたきめ細かな保育が行われていることが特徴とされています。

特に大型園の設置が困難な都市部では、テナントや既存建物の改修による設置が可能であることなどから年々設置数が増加しており、厚生労働省の社会福祉施設等調査によると、平成27(2015)年度には1,555件だった施設数が令和3(2020)年度には7,245件に上っています。それに伴い、平成27年度には23,157人だった待機児童数は令和3(2020)年には5,634人へ改善され



- 1 今回調査に入った小規模保育施設の中の様子。家具や設備の状況を確認し、ビデオカメラで使用者の行動を記録する。
- 2 児童および保育者の行動観察調査の様子。これから園外活動に出ようとしているところ。
- 3 園外活動の様子を丹念に記録。保育者へのヒアリングも行った。
- 4 園外活動の代替地である講演までの経路を記録する。安全なルート選択が重要。

ました。令和2(2019)年には、「子育て安心プラン」が発表され、令和3(2020)年度から令和6(2024)年度末までの4年間で約14万人分の保育の受け皿を整備することが計画されており、このような地域型の保育施設の需要は一層増すものと推測されます。

一方で、小規模保育施設の量的な拡大は達成されつつあるものの、認知度は未だに低く、同時に小規模保育施設を建築計画の面から調査した研究は、散見される程度で実態把握が遅れており、小規模保育事業における施設計画については未だ十分に議論されていない現状にあります。さらに、小規模保育施設設置のニーズが高い利便性の良い立地では園庭の設置が難しい場合も多いことから、園外活動の代替地の環境や、施設から代替地までの経路の安全対策なども含め、質が担保された保育環境の提供には依然考慮すべき課題が山積している現状です。

本研究では、このような社会背景をもとに、今後の小規模保育施設の設置計画の指針を得る事を目的に、小規模保育施設の施設内容を運営・管理の両側面から実態調査を行っています。

研究開始の初年度となる2022年度は、事前にアンケート調査を行っていた全国の小規模保育施設3,000件の中で、分析の結果から理想的と考えられた平面構成と使い方をされている施設を8件選定。それらの施設を対象に、家具・設備状況を含む施設内容の詳細や児童と保育者の行為について実態調査を行います。



10月24日には、堺市の住宅街に立地する施設で、11月14日には京都市の市街地に立地する施設で、(1)施設長に対する施設運営に関するヒアリング、(2)保育室を含む全諸室の家具・設備の状況調査、(3)予め全保育室及び廊下に設置したビデオカメラによる施設利用者(児童及び保育者)の終日行動観察調査を実施。同施設には園庭が付帯していないことから、公園での園外活動についてもヒアリングと観察調査を行い、詳細な記録を取りました。2室型保育施設の平面構成と詳細な設え状況や、近隣の街区公園を用いた園外活動の様子やそのルート選択の詳細が明らかになってきました。次年度以降は、2022年度とは保有保育室数や使い方の異なる6施設を対象として施設内の調査を、また地域特性の異なる9施設を対象として園外活動調査を進め、実態を明らかにする計画です。

これらの調査結果の分析をもとに、最終目標として今後の小規模保育施設の建築計画や家具・設備計画の指針を策定するとともに、公園などの地域資源を利用する場合の園外活動のあり方や施設の立地条件について、自治体への提案を行いたいと考えています。

受賞関係

経済経営学部 田中雅子教授が、論文「堀場製作所三代目の経営理念浸透プロセスの分析-『正統的周辺参加』理論アプローチ」で、経営哲学学会の2022年度学会賞を受賞しました。同論文は、オーナー企業の後継者である三代目経営者へのインタビューを通じて、経営者が経営理念を自身のものとするプロセスについて分析・検討されたものです。経営哲学研究の発展に資する優れた論文として認められて表彰を受けました。



科研費とは

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

食物栄養学科の学びでSDGs 地産地消料理コンテストで応募総数577点の頂点に

JAグループの出版を担う(一社)家の光協会が主催する「第20回ザ・地産地消料理コンテスト」で、現代生活学部食物栄養学科4年の秋田果実さん、大西菜月さん、落合正雄さんの3人によるチームが「10分でできる副菜」部門で最優秀賞を獲得しました。このコンテストは地域の自給率向上や地産地消料理の開発・普及を目的として行われるもので、「ごはんがすすむ主菜」部門、「10分でできる副菜」部門、「スイーツ」部門の3部門で全国から577点の応募がありました。

学生らが考案した料理は「SDGs大和茶まるごと! 茶殻ふりかけ」。通常廃棄される出がらしの大和茶の茶殻を再利用し、SDGsの食品ロス削減の目標達成を目指しました。桜エビやしぼ漬け、カリカリ梅を組み合わせて、彩りや食感にアクセントを加えた、ご飯だけではなく冷ややっこなどにぴったりの一品です。

また、秋田さんらのグループは、学生を対象にした近畿の有機食材を使ったお弁当のコンテスト「学生おべんとうコンクール2022」(主催:近畿農政局)でも、団体の部で準グランプリを受賞しました。「銀婚式25th祝い重〜育ててくれてありがとう〜」と名付けられたお弁当は、銀婚式を迎えるご両親に向けた祝い重。奈良県産の食材をふんだんに使用し、お母さまの思い出の味をアレンジしたおかずがたくさん詰められています。SDGs的な観点から、お弁当からゴミが一切出ないよう工夫されているのも大きな特徴です。

3人は「おいしくできたので、一人でも多くの人にレシピを知ってもらいたい」と話し、レシピのできに自信をのぞかせました。



(上)2冠に輝いた食物栄養学科4年の大西菜月さん、秋田果実さん、落合正雄さん(左から順に)。(下左)茶殻ふりかけは審査員からも「ご飯どろぼう」と大絶賛。JAならけんのまほろばキッチンとのコラボも計画されている。(下右)彩り鮮やかな祝い重。手が汚れずに食べられるような配慮もされている。
※茶殻ふりかけのレシピは2023年1月の受賞発表時にはWeb未掲載。 【祝い重】

地元伏見の宝物を発掘して「伏見遺産」に 居住空間デザイン学科で模型づくりをサポート

奈良市伏見小学校(奈良市菅原町)での総合的な学習「総合『なら』」の授業で、現代生活学部 居住空間デザイン学科の北澤嘉浩教授(専門分野:建築意匠、まちづくり、地域コミュニティデザイン)ゼミの学生12人が、5年生4クラス、134人の建築模型の製作をサポートしました。

「総合『なら』」は、奈良で学んだことに誇りを持ち、社会の課題に対応できる子どもの育成を目的とした授業。今回は、「発掘! 私たちの宝物 伏見遺産」をテーマに、児童が「伏見観光大使」となり、次世代に残すべき地域の文化遺産や宝物を発掘し、「伏見遺産」の模型を作って一般展示します。児童はトイレトペーパーの芯やペットボトルなど身近な廃材を持ち寄り、10月12日と19日の2日間、自分たちが選んだ「伏見遺産」の模型作りに取り組みました。

マツの木を作ろうと悪戦苦闘する児童に「素材につまようじを使ってみたら?」と話しかけた宇田篤史さん(居住空間デザイン3年)は、ポンドの使い方についても丁寧にアドバイス。みるみるうちにリアルな松葉ができていき、児童も満足げな表情を浮かべていました。

できあがった模型から、「伏見遺産」と「伏見重要文化財」が各クラスの代表により選考され、3学期には伏見公民館に展示される予定です。



▲今回のコラボ授業は、同校で教員を務める川邊甲余子さん(こども教育2021年3月卒業)の働きかけで実現した

手作りおもちゃコンテストで こども教育学科のチームが 一般投票による賞を受賞



全国で保育園、幼稚園、こども園を運営する京進グループが開催する「手作りおもちゃコンテスト2022」において、教育学部こども教育学科4年生の大嶋郁花さん、出谷萌夏さん、上岡光彩さん(写真左から順)からなるチーム「コスモス」が「どきどきワクワク賞」を受賞しました。

同コンテストでは、保育士を目指す学生が、既存の枠にとらわれないユニークな「手作りおもちゃ」のアイデアを競います。「どきどきワクワク賞(一般投票賞)」は、全国から応募のあった96作品のうち一次審査を突破した36作品から、インターネット投票で選ばれる賞です。

3人の作品は、組み立てると立法体になる布製の知育玩具。それぞれの面で四季がモチーフとなっています。取り外しができる桜やサンタクロースなどのマスクや、プレゼントの箱のリボンでちょうちょ結びができた、「とんぼのめがね」の歌詞になぞらえてメガネの色が変えられたり、子どもの五感を刺激し、発達を促す数々の仕掛けが工夫されています。

9月30日、学園前キャンパスにおいて表彰式が行われ、株式会社京進からトロフィーと賞状のほか記念品などが学生に手渡されました。受賞した3人は、公立の幼稚園教諭や保育士での採用が決まっており、今春から教育者として道を歩み始めます。受賞者の一人である大嶋さんは「採用試験の合間で時間がなかった中でしたが、3人で挑戦してよかった」と笑顔で話しました。

経済経営学科、法学科、日本文化学科、食物栄養学科「Tez芋プロジェクト」 4学部4学科連携のSDGs活動 —持続可能な未来へわたしたちができること—



「学内の遊休地でサツマイモを育て、食の貧困の解決に役立てたい」と、大学同窓会わかみどりの学生チャレンジ制度に応募した経済経営学科の中川雅嗣准教授(専門分野:農業経済論)ゼミと法学科の末吉洋文

11月19日に開かれた経済経営学部のゼミ研究報告会では、「Tez芋の損益分岐点分析」のタイトルで、中川ゼミの学生がTez芋の収穫に関して農業経済学の視点から考察した口頭発表を行ったほか、日本文化学科の後藤博子教授(専門分野:日本近世文学・演劇)の司書課程の科目「図書・図書館史」では、学生がSDGsをテーマにした選書を実施。東生駒キャンパス図書館のCキューブで1月10日から選書のPOPを展示しました。後藤教授は、「他者のニーズに応える本を選ぶ力は司書には必要なもの。学生にとってよい機会になった」と話し、学科間連携が学生の学修意欲の向上につながったとの見解を示しました。

教授(専門分野:平和学)ゼミの学生たち。提案が採択されて、東生駒キャンパスの2号館横を開墾し、「Tez芋」と名付けたサツマイモを植えたのは5月も終わろうかという時期でした。その後、中川ゼミ生の家族が所有する耕作放棄地にも範囲を広げて合計420本もの苗を植え、もともと荒地だった学内の畑には落ち葉をコンポストして作った堆肥で追肥を行うなどして大切に育てました。

そして迎えた実りの11月。予想以上の収穫に恵まれて、Tez芋は他学科や事務部署と連携するSDGsプロジェクトで広く活用されることに。食物栄養学科の佐伯孝子准教授(専門分野:給食経営管理論)の大量調理実習では、Tez芋を使用した献立の食券を学内で販売。売り上げの一部がTable for Twoとして寄附されます。大学食堂でもTez芋の天ぷら定食などの特別メニューが12月から提供され、食物栄養学科と同様にTable for Twoが行われました。東生駒キャンパスのイルミネーション点灯式▶PIIでは、学生生活課と食堂の協力を得て100本のTez焼き芋がふるまわれ、募金箱を持った学生により寄附が呼びかけられました。



(上左)日本文化学科の学生によるSDGs選書。幅広いジャンルの図書がピックアップされている(上中)食堂で提供されたTez芋の特別メニュー(上右)イルミネーション点灯式でふるまわれた焼き芋。プロジェクトの趣旨を説明したちらしとともに配布された(下)食物栄養学科の学生が授業内で考案したTez芋の献立。Tez芋は豚汁とデザート用の焼きケーキに使用されている。

りんごとさつまいもの蒸しケーキ

●材料(1人分)

薄力粉 18g	りんご 10g★
ベーキングパウダー 1.2g	砂糖(煮詰める用) 2g★
牛乳 12g	さつまいも 8g
卵 12g	くるみ 1.5g
砂糖(生地用) 6g	バニラエッセンス 1滴

【作り方】

- ①蒸し器を沸かしておき、薄力粉をあらかじめふるっておく。
- ②りんご(皮付き)★は1cm角に切り、鍋に砂糖(煮詰める用)★をまぶして5分置き、柔らかくなるまで弱火で煮る。
- ③さつまいもは、皮をむいて1cm角に切る。
- ④くるみはビニール袋に入れてすりこぎで砕く。
- ⑤ボウルに牛乳、卵、砂糖(生地用)、バニラエッセンスを入れ、泡立て器で混ぜる。
- ⑥⑤に②と③と④のあらかじめふるった薄力粉をよく混ぜて、カップに流し込む。
- ⑦砕いたくるみを上に乗せ、蒸し器で15分蒸す。
- ⑧竹ぐしを刺して、生地がつかなければ完成。

秋篠宮佳子内親王殿下の前で活動報告 「ジェンダーギャップを考えるカルタ」



ガールスカウト日本連盟が主催する第4回コミュニティアクション チャレンジ100アワードにおいて、法学科の末吉洋文教授の専門基礎演習で取り組む「ジェンダーギャップを考えるカルタ」がチャレンジ賞を受賞しました。

「ジェンダーギャップを考えるカルタ」は、遊びながらジェンダーギャップについて知識を深められるカルタ。教育現場での活用を目指して2020年度から作り始め、以降毎年3月8日の国際女性デーの日に、大学HPからその年のカルタをダウンロードできるようにしています。男子学生が主体となったジェンダー問題への取り組みは全国的にもめずらしいということで多くのメディアに取り上げられ、本学のものを原案にしたカルタを作成する団体も現れるなど、さまざまな形へと進化を遂げています。

10月16日、同賞の授賞式がガールスカウト日本連盟主催イベント「ガールズメッセ」の第1部として行われ(於:SYDホール(東京都渋谷区))、末吉ゼミの4年生、網野太志朗さんと山谷京一郎さんが秋篠宮佳子内親王殿下のご臨席のもと、これまでの活動について報告を行いました。



(上)蓮花一己学長による挨拶。学園前へも同時配信。
(下左)経済経営学部の学生によるプロジェクト発表では、多くの賞賛の声があがった。
(下右)教員と保護者の歓談。面倒見のよい教育に感心する声が寄せられた。

保護者アンケートから(抜粋) 一部のご意見・ご感想をご紹介します。

- 【就職説明会】
今の就職活動の流れがよくわかった。(日本文化3年ほか多数)
親としての目線を社会人からの目線に変えることが大切だとわかった。(食物栄養3年)
- 【学科別説明会】
大学での本人の様子を詳しく聞くことができ安心した。(日本文化2年)
学生のプロジェクト発表がすばしかった。(経済経営3年ほか多数)
先生方の人柄の良さのようなものが伝わる説明会だった。(心理1年)
- 【全体を通して】
少人数教育で一人ひとりを大切にしている様子が伝わってきた。(日本文化2年)
コロナ禍でもい早く対面授業を再開してもらえてよかった。(日本文化2年)
清潔感あふれる大学。子どもを預けられてよかった。(教育3年)
- 【大学へのご意見・ご要望】
大規模大学にはない手厚さをもっとアピールするとよいのでは。(日本文化2年)
大学が主体となったSNSなどで日常の「コマ」を発信してもらえるとうれしい。(法1年)

令和4年度学長表彰・教職員教育功績表彰



左から順に、学長表彰を受けた文学部日本文化学科の「獅子頭里帰りプロジェクトII」チーム、教職員教育功績表彰を受けた心理学部心理学科の川合悟教授。蓮花一己学長との記念写真。

9月30日、東生駒キャンパスで学長表彰ならびに教職員教育功績表彰の表彰式を行い、蓮花一己学長から受賞者に表彰状と記念品が授与されました。

「学長表彰」とは、学業や優れた活動により社会的に高い評価を受けるなど、本学の名誉を高めることに貢献した学生または学生団体を学長が表彰する制度で、「学長賞」と、それに次ぐ「学長奨励賞」の2つの賞を設けています。

今回、「学長賞」に選ばれたのは、文学部日本文化学科と人文科学研究科の学生と大学院生からなる「獅子頭里帰りプロジェクトII」チーム。本学所蔵の獅子頭の山口県での展示や山口市立柳野木小学校との教育連携などで地域文化継承に貢献したことが評価されました。「教職員教育功績表彰」は、本学の教職員の意欲向上や教育実践活動の活性化を目的に、本学の教育実践に顕著な成果をあげた教職員を表彰する制度。今回は心理学部心理学科の川合悟教授が表彰を受けました。川合教授は1991年に帝塚山短期大学に着任以降、大学でも長年にわたり学部・大学院教育の中核として学部長などの要職を歴任。教育研究活動での数々の功績が評価されました。

本学では、このような顕彰により、学生の学修意欲を高めるとともに教職員の意識向上を促し、より質の高い教育を実現するよう今後も努めます。

保護者の皆さまへ

2022(令和4)年度 保護者教育懇談会・就職説明会を開催

本学では、学生の修学や大学の支援状況について保護者の皆様に理解をさらに深めていただく機会として、教職員と直接懇談できる「保護者教育懇談会・就職説明会」を毎年開催しています。

10月16日、令和4年度同懇談会・就職説明会を東生駒キャンパスと学園前キャンパスで同時開催し、194家庭から276名もの保護者にお越しいただきました。昨年に引き続き、午前中はキャリアセンター主催の就職説明会、昼食をはさんで午後からは学科ごとの教育懇談会を実施。冒頭の蓮花一己学長の挨拶も昨年と同様、東生駒キャンパスから学園前キャンパスにリアルタイムで配信されました。

就職説明会では、コロナ禍により大きく変化した就職事情と保護者に望まれる就職活動へのサポートについて詳しい解説がありました。講演の後は質疑応答の時間が設けられ、講師から丁寧な回答がなされました。

その後は各学科に別れ、教育方針や学生支援内容について専任教員から説明がありました。学科の主要科目やプロジェクトを中心とした特色ある取組みなどが一つひとつ紹介されました。続く個別面談では、学生の成績や就職、キャンパスライフなどに関する保護者からの相談に教員が応じ、希望者には施設ツアーが行われました。学科説明と就職説明会については全イベントを録画し、ご参加いただけなかった保護者に向けて後日配信されています。

本学はこれからも、「学生への教育・支援がきめ細かい」大学を目指し、より充実した教育活動を展開してまいります。

令和4年度9月卒業式を実施しました



9月22日、令和4年度帝塚山大学9月卒業式が東生駒キャンパス「まほろば」で執り行われ、学長、副学長、学部長をはじめ教職員や保護者が見守る中、5学部25名が学び舎から巣立ちました。

蓮花一己学長は卒業生一人ひとりに卒業証書と学位記を授与し、続く式辞ではコロナ禍でのキャンパスライフに触れるとともに、「自分が歩んできた道を信じ、自分を信頼して、社会人としての生活をスタートしてほしい」と卒業生にはなむけの言葉を贈りました。



Tezukayama TOPICS

**日本文化学科の「天平絵馬」プロジェクト
古絵馬の歴史を探り、コロナ退散祈願の絵馬を制作**

20年に一度の式年造替を2023年4月に控える今井堂天満神社(奈良市日笠町)。平安後期に創建された同神社は、木曾義仲の乳兄弟である今井兼平の息子が義仲と兼平を祀ったとされ、拜殿には多数の絵馬が奉納されていることで知られています。

日本文化学科の清水昭博教授(専門分野:考古学)が奈良時代の絵馬が出土した日笠フシダ遺跡の発掘調査(2006年に携っていたことが縁で、神社から古絵馬の調査と式年祭用の絵馬の作成の依頼が無い込んだのが、2022年9月のこと。そこから日本文化学科の学生と人文科学研究科の大学院生による「天平絵馬プロジェクト」が始まりました。

10月31日に実施した現地調査では、学生らは拜殿の天井や社務所の壁に掲げられた絵馬の大きさの計測や撮影を行いながら、絵馬の奉納年度や意匠の特徴をノートに書き留めていきました。年月を経て表面の文字や絵が読み取れなくなっている絵馬については、その後、赤外線撮影するなどして詳細を明らかにしました。1ヶ月に1〜2度ほどの調査を続け、判明した古絵馬の枚数は合計約180枚、最も古いものは1818(文政元)年の作。そのほとんどが馬を意匠にしたもので、農作物の出来を左右する雨や晴れを祈願するものです。

調査の一方で制作を進めている奉納絵馬の意匠も、清水教授が縁となった日笠フシダ遺跡から出土した奈良時代の天平絵馬がモチーフ。同遺跡の絵馬の特徴でもある左向き大きな筆毛馬の図案を生かしつつ、本学附属博物館の学芸庶務の職員の協力を得て新たにデザインを起しました。

- 1 拜殿の天井や梁を埋めつくす数々の絵馬。大小さまざまな絵馬の配置を特徴とともに記録していく。
 - 2 計測した内容や意匠の特徴を互いに照らし合わせながら確認。
 - 3 社務所の軒下にもすまなく絵馬が掲げられている。
 - 4 絵馬を模した矩形に詳細を記す。
 - 5 奉納絵馬の下絵を描く様子。日笠フシダ遺跡から出土した絵馬に描かれる板面いっぱいの「古代馬」を表現するために、さまざまな資料を参考にしながら馬のフォルムを決めた。
- この「令和の天平絵馬」と古絵馬の調査報告書は、2023年4月9日に行われる同神社の式年祭で奉納される予定です。
- 2023年1月には、本学附属博物館において、川上村を拠点に活躍する書家の土井一成氏により、絵馬への文字入れが行われました。関係者が固唾を呑んで見守るなか、「奉懸」「東郷中」「正遷宮」「令和五年四月九日」の文字が揮毫されました。
- ヒオウギの花が配られています。

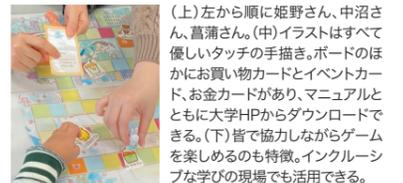
**子どもが社会的スキルを学べる「おつかいすごろく」
発達支援現場での活用をめざし、心理学科の学生が考案**

心理学科の式部陽子講師(専門分野:発達障害、ペアレント・トレーニング)のゼミ生である葛蒲舞さん、中沼光さん、姫野朱音さん(ともに4年)が、子どもの社会的スキル(Social Skills)育成を目的としたボードゲームを考案しました。発達支援や対人支援などを専門的に学ぶ学生ならではの視点が生かされた「おつかいすごろく」ゲームで、対人関係などの社会生活に必要なスキルを学ぶソーシャルスキルトレーニング(Social Skills Training=SST)に役立ちます。

制作のきっかけは、キャッシュレス化でお金の概念を理解しづらい子どもが増えているというニュースを目にしたこと。お金の楽しく学ぶツール作りを卒業研究にしたいとゼミでアイデアを交換しはじめました。子ども福祉のアルバイトで、買い物という行為がSSTになると実感した経験などから、「おつかい」を軸にしたSSTのゲームを思いついたと、3人は語ります。

今回の「おつかいすごろく」は、従来からある「おつかいゲーム」と異なり、お金の概念や計算知識、おつかい計画などのプランニングだけでなく、社会のルールや人とのかわり方など、幼児期から小学校低学年で身につける発達課題を盛り込んでいることが特徴です。おつかいの道中に「落とし物を見つけたらどうする?」「知らない人に声をかけられたらどうする?」などのソーシャルスキルを訓練するイベントがしかけられており、社会常識や安全に関する知識などがゲームを通じて学べます。また、皆がおつかいを終えて家に帰るまでをゴールにすることで、勝ち負けを競わないように設定し、さまざまな年齢や特性のある子どもたちが、一緒に楽しく遊べるように工夫されています。

3人は「子どもやゲーム好きの大学生に実際に試作品をプレイしてもらい、意見を反映して改良を重ねた。大人も子どもも楽しく遊んでもらえるゲームになった」と話し、「子どもの発達支援を行っている現場で活用してもらえれば」と、ボードゲームのデータを遊び方マニュアルとともに大学HPから自由にダウンロードできるようにしています(2023年3月〜)。本ゲームは、今後、本学のこころのケアセンターでも活用される予定です。



(上)左から順に姫野さん、中沼さん、葛蒲さん。(中)イラストはすべて優しいタッチの手描き。ボードのほかにお買い物カードとイベントカード、お金カードがあり、マニュアルとともに大学HPからダウンロードできる。(下)皆で協力しながらゲームを楽しめるのも特徴。インクルーシブな学びの現場でも活用できる。

EVENT & INFORMATION

UPCOMING SEMINARS 開催予定のイベント

帝塚山大学・(公財)奈良市生涯学習財団共催 公開講座

性格について考える

2回の講座で性格について考えます。グループワークを通じて、自分自身の性格の再発見をめざします。

【開催日時】 第1回 2023年2月26日(日)
第2回 2023年3月4日(土)
いずれも10:00-11:30

【開催場所】 西部公民館 4階会議室(奈良市学園南3-1-5 近鉄奈良線学園前駅南出口すぐ)

【講師】 水野 邦夫 教授(帝塚山大学 心理学部)

【定員】 40名(申込多数の場合は抽選)

【受講料】 無料

【お問い合わせ】 (公財)奈良市生涯学習財団 西部公民館
TEL:0742-44-0101

帝塚山大学奈良学総合文化研究所 公開講座「名品・名作誕生 XVIII」

2月4日(土) 第1回 八幡名物「大願文」と「小願文」—藤原定家の古筆切
中川 真弓 准教授(帝塚山大学 文学部)

2月25日(土) 第2回 人形浄瑠璃芝居を描く—絵看板と絵入本—
後藤 博子 教授(帝塚山大学 文学部)

3月11日(土) 第3回 地獄のすがた—『往生要集』を中心に—
戸花 亜利州 氏(帝塚山大学考古学研究所 特別研究員)

3月18日(土) 第4回 一仮称「国宝尊像石標」全国130余基の誕生と周辺—
杉崎 貴英 教授(帝塚山大学 文学部)

【時間】 各日とも10:30~12:00(受付は10:00~)

【場所】 帝塚山大学東生駒キャンパス1号館1301教室(予定)

【受講料】 無料

【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の申込フォームからお申し込みください。

【お問い合わせ】 奈良学総合文化研究所
TEL:0742-48-9192(火・木・金 9:00-12:00/13:00-17:00)

【2022年度下半期】市民大学講座

※Zoomによるオンライン講座

2月4日(土)
第489回市民大学講座「都市と山越えの万葉考古学」
山田 隆文 氏
(奈良県立橿原考古学研究所 調査課 総括研究員)

2月25日(土)
第490回市民大学講座「春祭りのはじまり」
深澤 芳樹 氏
(帝塚山大学非常勤講師・元奈良文化財研究所副所長)

3月11日(土)
第491回市民大学講座「飛鳥の古代寺院」
清水 昭博(帝塚山大学文学部教授・帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長)

3月25日(土)
第492回市民大学講座「古代朝廷の防御と鎮め」
甲斐 弓子 氏(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

【開催時間】 14:00-15:30

【定員】 100名(申込先着順)
※各講座で受付開始日が異なります。

【受講料】 無料

【申込方法】 帝塚山大学附属博物館HP
(<https://www.tezukayama-u.ac.jp/museum>)から

【お問い合わせ】
帝塚山大学考古学研究所
TEL:0742-48-9700/FAX:0742-48-8783
Mail:arch@tezukayama-u.ac.jp

EXHIBITION

奈良学総合文化研究所 近年新収資料特集展示 「古代美探求

— 奈良の近代 まなざしといとなみの諸相 —

明治から昭和戦前期にかけて—現在のように、写真を手軽に撮ることがかなわなかった時代の資料からは、いにしへの奈良大和路の美に注がれた、熱いまなざしが感じられます。

今回の展示は、奈良の文化財をめぐる有名・無名の人びとが残したさまざまな成果—仏像写真、彩色文様の図譜、国宝彫刻の拓本、正倉院宝物の模写、肉筆画で彩られた研究ノートなど—を通じて、古代美探求のいとなみを見つめてみようとするものです。

【展示/開催期間】 2月24日(金)~3月18日(土)
9:00-16:30

【場所】 帝塚山大学附属博物館

【入館料】 無料

【休館日】 日曜

※開館日時に変更等が生じる場合には、HPで随時ご案内します。

【お問い合わせ】 帝塚山大学附属博物館
TEL:0742-48-9700
URL: <https://www.tezukayama-u.ac.jp/museum>



ならファミリー×帝塚山大学「織物展」

本学は、社会人の学び直しの一環として、「織物講座初級編」を開講しています。本講座は、織物の歴史や複数の織物技術の習得を通じて、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的に開講するもので、講座修了者には、履修証明書「帝塚山大学織物マイスター」が発行されます。

本展示会では、講義で学んだ織物の技法で織られたランチョンマットやタペストリー、バッグ、着物などの多彩な作品を展示するとともに、「大和機」での、機織りの実演を行います。

【展示/開催期間】 3月18日(土) 10:00~20:00
3月19日(日) 10:00~18:00

【開催場所】 ならファミリー専門店街zoro 1F らくだ広場
(奈良市西大寺東町2-4-1近鉄奈良線
大和西大寺駅下車徒歩3分)

【観覧料】 無料



FINANCIAL REPORT

令和2(2020)年度決算について(報告)

帝塚山大学を設置する学校法人帝塚山学園の令和2(2020)年度決算が、令和3(2021)年5月27日開催の理事会において承認されましたので、概要をお知らせします。



【収入】

収入の主たる科目は次のとおりです。

- ・学生生徒等納付金 対前年度 2千4百万円の増
 - ・手数料収入 対前年度 2千7百万円の減
 - ・経常費補助金 対前年度2億6千6百万円の増
 - ・雑収入 対前年度 2千4百万円の増
 - ・資産売却差額 対前年度 3千万円の増
- 収入全体としては前年度と比較して3億3千万円の増となりました。
- その主な理由は経常費補助金の増加です。また、奈良市道路整備事業に伴う学園用地の一部売却による特別収入も寄与しています。

【支出】

支出の主な科目は次のとおりです。

- ・人件費 対前年度 3千万円の増
 - ・教育研究経費、管理経費 対前年度1億2千6百万円の増
- 支出全体としては前年度と比較して1億3千万円の増となりました。
- その主な理由は、大学授業料減免費交付金による奨学金の増加、退職者数の増による退職金の増加、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校や出張制限等により、主として大学の光熱水費、旅費交通費等が減少したことによるものです。

【収支差額】

「基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支)」は2億3千万円の支出超過となりました。前年度と比較して支出超過が2億円改善しましたが、これは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う諸経費の減少及び、奈良市道路整備事業に伴い、学園用地の一部売却したことによるものなので、依然として改善は必要です。

大学での5年連続の入学定員を上回る学生確保をはじめ、各学校においても概ね定員を確保することができました。学部学科の再編、入学定員の見直し、授業料の改定、教職員定員管理の適正化等、諸施策を役員・教職員が一丸となって取り組んだ結果が表れてまいりました。今後も学生・生徒・児童・園児を第一に考え、学習環境の向上、キャンパス整備等に取り組むとともに財政健全化計画を完遂してまいります。

NEWS

第56回 帝塚山大学卒業式 第31回 帝塚山大学大学院修了式

【日時】 令和5(2023)年3月24日(水)13時00分開式(入場受付:12時~)
【会場】 グランキューブ大阪(大阪国際会議場)5階メインホール

令和4年度の卒業式・修了式は、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じたうえで、式典規模を縮小して開催させていただく予定です。今年度は、昨年度より一部制限を緩和し、父母等の皆様のご出席を可能とさせていただきます。会場では座席間隔を保ち、当日の体調が優れない場合は、ご出席を控えていただきますようお願いいたします。

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法や実施形態を変更する場合があります。大学ホームページなどのご案内を確認するようにしてください。



EVENT REPORT

第15回 博物館実習生による企画展示 「#奈良遊戯~あの日の遊園地は永遠に~」を開催しました。

1月10日~2月10日まで、附属博物館において第15回博物館実習生による企画展示「#奈良遊戯~あの日の遊園地は永遠に~」を開催しました。附属博物館を設置する本学は、学芸員資格取得に必要な「博物館実習」を本物の史資料に触れながら学内で行うことができます。本企画展示は、その学びの集大成として文学部の学生が企画・立案し、毎年1月に一般に向けて開催するものです。

今年の展示テーマは「奈良の遊園地」。かつて奈良県には、現在も営業中の生駒山上遊園地のほかに、あやめ池遊園地や奈良ドリームランドといった遊園地がありました。本企画展示では、各遊園地の開園当初のパンフレットや写真などの資料を展示し、懐かしい奈良の遊園地の歴史を来館者にお楽しみいただきました。





奈良で学び、ドイツ留学か日本での就職を



経済経営学部 経済経営学科1年
セイン・セイン・テットさん
ミャンマー出身

ミャンマーからの留学生、セイン・セイン・テットさん。名前の「セイン」はミャンマー語でダイヤモンドを意味するそうです。大学での学びだけでなく日本語学校在学時から続けているボランティア活動にも全力投球するテットさんに話を聞きました。

経済経営学部1年生のセイン・セイン・テットさんは2020年秋にミャンマーから来日し、日本語学校を経て今春本学に入學しました。母国では外国語大学でドイツ語を学びながら日本語学校にも通っていました。現地での大学卒業後にドイツと日本のどちらに留学するのか悩んだ末、家族の要望もあって日本で学ぶことに決めました。従姉妹が日本で働いているという安心感も日本留学への後押しとなったそうです。

テットさんが考える日本の魅力は、経済力と技術力のレベルの高さです。



高さ、そして教育システム。日本で学ぶからには、そういったよい部分を貪欲に吸収していきたいと目を輝かせます。そんな彼女なので、学修意欲も極めて高く、授業にアルバイト、さらにはボランティア活動にも寸暇を惜しんで取り組んでいます。本学卒業後は、ドイツに留学するか、日本で就職してマーケティングや商品企画などの分野で活躍するのが夢だと笑顔で話してくれました。

今こそ社会的なテットさんも、もともとは人前で話すことが苦手だったとか。ところが、日本語学校在学時にプレゼン大会で本選まで勝ち抜いたことが自信になり、むしろ大勢の人の前で話したいと思えるようになったそうです。虹色祭初日に行われた

(写真右)虹色祭当日に行う留学生日本語スピーチコンテスト。外国人留学生が日本語スピーチを競い合うこの催しは、今年で24回目を迎える恒例の行事。(写真上)留学生日本語スピーチコンテストの様子。ミャンマーの伝統的な衣装をまとったテットさん。



留学生日本語スピーチコンテストにも、午前中に外部のスピーチコンテストに出場してから参加しようとしていたほど。何にでも果敢に取り組む彼女の性格がよく表れたエピソードです。今の悩みは時間が足りないこと。華道部に入部したいものの、授業とクラブの活動時間が重なってどうしても参加できないのが残念だと話します。諦めきれないので、来年度の時間割組みでスケジュールが調整できることに期待をかけているそうです。冬でも20℃を超える温暖なミャンマーと比べると、日本の冬は「めっちゃツライ！」と肩をすくめたテットさん。体調には気をつけて、キャンパスライフを満喫してください。

2023年度 学部入試日程一覧

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日*		
一般選抜	B日程	2023年 1/19(木)	2023年 2/13(月)	2023年 2/16(木) 2/17(金)	2023年 2/24(金)
	C日程	2023年 2/8(水)	2023年 2/24(金)	2023年 2/25(土) 2/27(月)	2023年 3/8(水)

* 願書の窓口受付は東生駒キャンパス入試広報課でのみ受け付けます。
(平日) 9:00~17:00 (土曜日) 9:00 ~ 13:00

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日*		
利共大 用通テ 入試学 入試学 入試学	後期	2023年 2/8(水)	2023年 2/24(金)	-	2023年 3/8(水)
総合型選抜	3月 自由応募型	2023年 2/21(火)	2023年 3/6(月)	2023年 3/7(火)	2023年 3/10(金)

【お問い合わせ】帝塚山大学 入試広報課

TEL 0742-48-8821(直通) FAX 0742-48-9021 ✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

OPEN CAMPUS 2023

3.12 日

要事前予約

全学部全学科対象

[事前予約][人数制限]で実施します。予約は入試情報サイトから。

学園前キャンパス

13:00~16:30
(受付開始:12:30)

[プログラム]

- キャンパスガイド＆入試説明会
- キャンパス見学ツアー
- 個別相談ブース
- 体験授業
- 学生スタッフによる特別イベント

[各学科・入試・学生生活・就職・学費・留学など]

東生駒キャンパス

5.28 日 7.16 日
8.11 日(金祝) 8.12 日(土)

学園前キャンパス

6.18 日 7.23 日
8.19 日(土)

開催時間はすべて11:00~16:30

Tezukayama 大学通信帝塚山 vol.52 UNIVERSITY LETTER

「大学通信帝塚山」企画・編集委員会
編集・発行 帝塚山大学 入試広報課 発行日 2023年2月
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL 0742-48-9149 (広報専用) FAX 0742-48-9021
mail koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp URL https://www.tezukayama-u.ac.jp/
卒業生の住所変更などのお問い合わせ先: 帝塚山大学同窓会わかみどり会 TEL 0742-48-6157 (平日10時~15時)

帝塚山 学校法人 帝塚山学園